

【南部】区域見直しのポイント

特に重要だと思ふポイントに重みづけをする

1人「3点」「2点」「1点」のシールを「特に重要だと思ふポイント」に貼り付けた結果

各班から抽出した特に重要な追加ポイント		3点	2点	1点	合計
●	通学距離(時間)、通学の安全性を考慮する	42	10	4	56
○	学びの平等性を最優先に考える	24	8	4	36
●	自治会・町内会の区域を分断しないように考慮する	21	8	2	31
○	将来を見据えて今を考える。計画性を持って企画する。	12	8	7	27
○	慣例学区からは大規模校への転入は控えるという方針を立てる。ただし個々の事情(兄や姉が通っている学校は合わせるなど)には十分配慮する。	6	18	2	26
●	通学路の距離(片道)は、小学校でおおむね2km、中学校でおおむね3kmとする	6	10	5	21
○	兄弟間で学校が変わらないこと	9	8	4	21
○	学区変更の可能性がある地域を早めに住民に伝える	0	2	13	15
○	地域ごとの子どもたちへの安全性への考慮	6	6	1	13
○	通学路の安全性を確保する	6	2	1	9
●	境界を明確にするため、幹線道路・鉄道・河川・町丁目等で分ける	0	8	0	8
○	区域の見直しを早めに伝えること	0	0	1	1
●	13地区の行政区割について考慮する	0	0	0	0

●=「藤沢市立学校適正規模・適正配置第1期実施計画」で通学区域見直しの際に、考慮するとしているポイント

○=【南部】第2回ワークショップで新たに追加されたポイント